

第61回

日本伝統工芸富山展

金工 漆芸 木竹工 陶芸 染織 人形 諸工芸

令和4年 5月27日(金) ~ 6月12日(日)

午前9時30分~午後5時(入場は4時30分まで)5月27日(金)は午前10時30分から<月曜休館>



「二度挽き尻張釜」 増山 誠一 作



高岡市美術館

観覧料 一般800円(640円) / シニア640円 / 大学生500円(400円) / 高校生以下 無料

○()内 団体料金 20名以上

○シニアは65歳以上

○身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は半額です。手帳をお持ちください。

(公財)高岡市民文化振興事業団

主催 高岡市美術館 / (公社)日本工芸会富山支部 / (公社)日本工芸会 / 北日本新聞社

後援 文化庁 / 富山県 / 富山県教育委員会 / 高岡市 / 高岡市教育委員会

NHK 富山放送局 / 北日本放送 / 富山テレビ放送 / チューリップテレビ

富山エフエム放送 / とやまソフトセンター

高岡市美術館 〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30 TEL 0766-20-1177

URL <https://www.e-tam.info/>

趣 旨

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層錬磨すると共に、現代に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

公益社団法人日本工芸会富山支部は1961年に北陸支部より独立・誕生し、今年で創立61周年を迎えます。

第61回 日本伝統工芸富山展は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸、計7部門の公募作品・受賞作品に加え、重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む全国著名作家の作品を一堂に展示します。

講演会

「伝統工芸の未来と展望」 富山の工芸 - 魅力とこれから -

講師 室瀬 和美 重要無形文化財保持者〔漆 芸〕
(公社)日本工芸会 副理事長

6月4日(土) 午後1時30分～ 入場無料
ウイング・ウイング高岡ホール 交流センターA

当日先着60名
受付12:30より

新型コロナウイルス感染防止のため事前に住所・氏名・電話番号を記入した用紙を必ずご持参ください。お預かりした個人情報は厳重な管理の上、講演終了後適切に処理いたします。

会期中同時開催

(公社)日本工芸会富山支部会員 小品展

地階 ミュージアムショップ

〈ご来館に際しての感染防止対策のためのお願い〉



新型コロナウイルス感染防止対策を行いながらの開催となります。開催状況や防止対策については、あらかじめ美術館ホームページ等でご確認いただくか、お問合せのうえご来館ください。会場内の混雑緩和のため入場をお待ちいただく場合がございます。



審査員

山岸 一男	重要無形文化財保持者〔漆芸〕 (公社)日本工芸会 参与
二塚 長生	重要無形文化財保持者〔染織〕 (公社)日本工芸会 参与
寺川 和子	石川県美術館 学芸第二課長
村上 隆	高岡市美術館 館長
般若 保	〔金工〕 (公社)日本工芸会 理事

順不同 敬称略

～ 工房紹介～



「惣型による茶ノ湯釜の制作」

惣型(挽き型)とは、実寸大の平面図の片面を挽き型板に取り、中心を軸に回転させ型づくりをしていく方法で、他の鑄造物のように型とりの原型はいりません。

上部写真は外枠の中に挽き型板(鉄板でできている)を固定し回転させながら型づくりをしているところです。

金工部門 増山 誠一さん

一本展の公募について

出展は未発表の作品に限ります。詳しくは公募要項をご覧ください。要項は、高岡市美術館内 日本伝統工芸富山展事務局よりお取り寄せいただくか、下記より富山支部公式 Facebookでもご覧いただくことができます。作品搬入に先立ち、事前の出展申し込みが必要です。



日本工芸会富山支部および会員、また伝統工芸に関するいろいろな情報を発信してゆきます。
日本工芸会富山支部公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/kogeiToyama/>